

「望ましい取組」の参考例

現行の総合計画（後期基本計画）に掲載されている「望ましい取組」を第2次総合計画1次素案の政策体系に合わせて記載している資料です。

基本目標1 元気で魅力あるまち

1 (1) 地域資源を活かした特色あるまちづくり

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケットの街として、訪れる選手・観客を温かく迎える ○地域資源を活用した加工品の開発、農産物の商品化を行う
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を利活用したもののPRを行う（市民グループ等） ○空き家に関する情報収集に協力する（自治会・町内会）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケットの街を推進するため、グッズを開発・販売する ○地域資源を活用した加工品の開発・商品化に取り組む
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○バスケットの街づくりの市民活動を支援する ○口コミを利用して地域をPRする ○地元の見どころや食の良さを広報やホームページなどで周知する ○空き家等に関する情報提供を行う ○定住人口を増やすための施策を検討する

1 (2) みんなが参加し活躍する地域づくり

<p>市 民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアセンターへの登録や、長期休暇の利用などにより、積極的にボランティア活動を行う ○自治会・町内会活動に積極的に参加する ○地域の活動として、学校行事や運動会、こども会、祭りなどに参加する ○男女共同参画に関する講座への参加などを通じて、意識を高め、実践する ○ライフスタイルに応じて、職場と家庭のバランスがとれる働き方、暮らし方をする ○外国人も隣人であるという意識を持ち、地域の行事やイベントなどに誘い、交流を図る ○在住外国人の日本語学習に対する理解を深める ○性別や国籍にとらわれず、一人ひとりを認め合う意識を高める
<p>各種団体等 (NPO・大学等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア同士の情報交換や、各種情報をホームページやメールマガジン等で発信するなど、活動の報告・周知に努め、ボランティアをコーディネートする機能を強化する（ボランティアセンター、ボランティア団体等） ○地域の行事やイベントを開催し、地域住民の連帯感を高める（自治会・町内会、まちづくり団体等） ○活動が困難な自治会・町内会を再編し、活動できる組織にする（自治会・町内会等） ○若者が地域活動等についての情報交換ができるようなネットワーク機能を強化する（ボランティアセンター、市民活動支援センター等） ○各地域の状況を踏まえ、地域住民による地区防災マニュアルを作成する（自治会・町内会等） ○女性の起業を支援する（商工会議所・商工会等） ○日本語の指導者の育成や学習会などを通じて、市民に異文化の理解を広める（ボランティア団体等） ○国際交流ホームステイの実施を検討する（ボランティア団体等） ○人権意識などの浸透のため、関係する団体同士が連携して情報交換を行う（人権擁護委員、保護司、民生委員・児童委員等）
<p>事業者等 (生産者等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティアなど地域貢献活動を主体的に展開する ○企業も地域の一員として地域の活動に参加する ○従業員に対してボランティア意識を啓発し、個人のボランティアを支える仕組みをつくる ○性別・国籍を問わず働きやすい環境づくりに取り組む ○職場と家庭のバランスがとれる働き方ができる職場づくりに取り組む ○男女共同参画社会づくりに関する研修会などを実施する ○女性に向けた起業セミナーを開講する（商工会等）
<p>行政機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の知識・経験を活かせる仕組みをつくる ○自治会・町内会などの地域活動を支援する ○地域の課題を解決するための効果的な事例を紹介するなど、わかりやすい情報提供に努める ○高校生ボランティア等、個人のボランティアを支える仕組みを作る ○市民活動をさらに推進していくため、リーダーの育成等について検討する ○男女共同参画の視点を持って施策展開を図る ○市民の男女共同参画意識を高めるよう啓発活動をする ○A L Tを含めた在住外国人と市民との交流会を検討する ○日本語の指導者やボランティアの育成に取り組む ○複数の言語ややさしい日本語による表示を検討する ○女性の起業を支援する

1 (3) 心豊かな暮らしを支える健康づくり

<p>市 民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活改善、禁煙、運動習慣など健康の自己管理に努める ○がん撲滅運動を推進する（運動習慣の改善、食生活改善、禁煙、減塩等） ○心の病を身近な問題として考え、家庭内での会話を多くするなど、予防に努める ○健康教室や健康に関するシンポジウム・キャンペーンに参加する ○健康診断の受診を心がける ○自然の中で暮らすライフスタイルへ転換していく ○かかりつけ医、かかりつけ薬局の意義を理解する ○かかりつけ医、かかりつけ薬局を持つ ○救命技能・応急手当を学習する ○献血に協力する
<p>各種団体等 (NPO・大学等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○地域で健康づくりの意識や正しい知識を広める（自治会・町内会、健康推進員等） ○がんや自殺などに関する調査・研究、心身の病の予防・早期発見に取り組む（医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、大学、研究機関、医療機関、民生委員・児童委員、NPO団体等） ○健康面や経済面、悩みごとなどの相談窓口を設ける（ボランティア団体、NPO団体、社会福祉団体等） ○検診受診率の向上も含め、がん撲滅運動を推進する ○中核病院や開業医の役割分担等、地域医療体制を再構築する（医師会等） ○市民に薬の重複による薬害の危険性を啓発する（医師会、薬剤師会等） ○医療施設の充実や医療従事者の確保を図る（医師会等） ○医療機関の利用について患者の意識改革に努める（医師会等） ○高齢者などを医療機関まで送迎するサービスを行う（NPO団体、医療機関等） ○献血運動を推進する
<p>事業者等 (生産者等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○職場の保健・衛生面に配慮する ○職場における心の健康の維持増進を図る ○従業員の定期的な健康診断を実施する ○市民に薬の重複による薬害の危険性を啓発する（薬局等） ○応急手当を学習する（事業所等） ○献血に協力する（事業所等） ○AEDの設置を進める
<p>行政機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○食生活改善の啓発や、健康づくりに関する定期的な情報提供に努める ○健康教室やシンポジウムなどを開催する ○がん検診の受診勧奨を含め、がん対策を推進するとともに、がん患者団体へ支援を行う ○心の健康に関する各種活動のネットワークづくりなどを支援する ○地域医療体制の再構築に協力する ○医師育成のため奨学金制度の創設等の検討を行う ○市民に薬の重複による薬害の危険性を啓発する ○救命技能講座を行う ○AEDの設置を進める

1 (4) 気軽に親しみ楽しめるスポーツ

市民	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツに親しむことを心がける ○スポーツに関して持っている知識や技能を生かす活動をする ○バスケットキャンプの実施を検討する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○市民の力を活用し、初心者でも参加しやすいスポーツクラブの育成や事業の開催などを行う（体育協会、スポーツ団体、NPO団体等） ○スポーツリーダーバンクの創設を検討する ○スポーツの指導者やコーディネーターが自主研修する（体育協会、スポーツ団体等） ○総合型スポーツクラブを増やす ○バスケットの街として、チームの育成や一般参加が可能な大会の開催、競技の普及啓発などを行う（体育協会、バスケットボール協会等） ○バスケットキャンプの実施を検討する
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツイベントに対する協賛などの支援を行う ○バスケットの街として、チームの育成や大会開催の支援などを行う
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ関係団体と連携して、組織づくりや人材育成を進める ○既存スポーツ施設の利活用を検討する ○総合型スポーツクラブを増やす

基本目標 2 笑顔で人が輝くまち

2 (1) 地域や社会で支える子ども・子育て

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもと一緒に地域の活動に参加する ○子育て中の人を地域の活動に誘う ○子育ての手助けをする ○世代間の交流を図るとともに、交通安全等、子どもの見守りを行う
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○子どもが地域になじめる環境づくりを行う（自治会・町内会等） ○保育所や幼稚園、学校の行事に協力する（自治会・町内会、ボランティア団体等） ○子ども会を育成する（自治会・町内会、学校等） ○世代間の交流を図るとともに、交通安全等、子どもの見守りを行う
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援や幼児教育に取り組む（保育所、幼稚園等） ○子育て家庭にサービスを上乘せするなど、子育てを応援する ○育児休暇を取れる就労環境をつくる ○子育て中の母親等への支援など、職場環境の改善を図る
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援センターやつどいの広場を通じて、育児相談や親子間交流を進める ○子育て家庭を応援する制度を検討する ○子育て・子ども支援を行う団体を育成する ○少子化対策として、婚活や子どもを産み育てやすくするための支援等に取り組む ○ワーク・ライフ・バランスの推進を図るため、男女共同参画意識を高める

2 (2) 次代を担う子どもを育てる学校教育

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○学校と地域の連携を図り、活動や行事に積極的に参加・協力する ○地域の子どもの心配り・目配りをする ○子どもが規則正しい生活習慣や望ましい食習慣を身につけるよう努める ○子どもへの伝統芸能の継承を行う
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の文化指導や体験学習を行うなど、世代間交流を進める（自治会・町内会、文化団体、PTA等） ○子どもが地域で活躍できる場を提供する（自治会・町内会、まちづくり団体等） ○ふるさと学習や体験学習を行い、活動事例を紹介する（学校等） ○不審者対策として、学校と連携し、子どもの見守り活動等を行う
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の活動や行事に協力する ○ふるさと学習や体験学習に協力する ○安全・安心な給食の食材を提供する ○職場体験やデュアルシステムなどに協力する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○個性や能力を伸ばせるよう、学習指導の工夫や改善を図る ○教育に関する相談がしやすい体制を整える ○体験学習を積極的に行う ○学校開放日を周知しながら、学校を積極的に活用し、地域との交流を図る ○不審者対策のため、子どもの見守り活動等、地域等との連携を図る

2 (3) 地域や社会に活かす生涯学習

<p>市 民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各種講座や公民館活動に参加・協力する ○学んだことを実践し、周囲に広める ○読書などを通して自らの見聞を広げる ○生涯学習に対する意識を若い世代にも広める ○地域の民俗芸能・行事に参加・支援する ○地域の歴史や文化に関心を持ち、学習発表会等を活用して学習する ○貴重な文化財や歴史資料の調査などに協力する
<p>各種団体等 (NPO・大学等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○学習の成果を活かした活動を企画・実施する（市民グループ等） ○地域住民主体の各種講座やフリータイムの講座などを実施する（婦人会、老人クラブ、文化団体、スポーツ団体、NPO団体等） ○空き店舗を使ってカルチャー講座などを実施する（NPO団体、文化団体等） ○関係する団体同士が連携を深め、民俗芸能などの指導者と後継者の育成を図り、活動の場を広げる（民俗芸能・行事継承団体、学校等） ○全市的な歴史資源の調査や保存・活用、PRを進める（歴史関係団体等） ○歴史の里づくりのため、地域の歴史の研究や積極的なPR、史跡周辺の環境整備などを行う（歴史関係団体、まちづくり団体等） ○観光客へ対応できるような体制を整える ○古文書等の発掘・解説者を育成する
<p>事業者等 (生産者等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○各種講座の指導者として参加する ○学習成果の発表に広告掲載などで協賛する ○空き店舗などを生涯学習の場として積極的に提供する ○歴史の里づくり推進のため、食事の提供や、食事をとれる場所の確保、特産品の販売などを行う ○地域の民俗芸能・行事に協力する ○文化・芸術の発表に広告掲載などで協賛する
<p>行政機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○団体のリーダーを育成する講座や、修了者を講師にした講座の実施や支援をする ○講座の受講手続きの簡素化や、託児付き講座の実施など、参加しやすい環境づくりに努める ○ボランティア団体などと連携する ○文化・芸術活動を支援する ○文化財や古文書等の保存施設を検討する ○檜山崇徳館の展示物の充実を図る ○古文書等の発掘・解説者を育成する

2 (4) 地域で活躍する元気な高齢者

<p>市 民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○一人暮らし高齢者などと日常的に交流する ○能力や技術を生かした活動を心がける（高齢者自身） ○積極的に地域や社会と関わりを持つ（高齢者自身） ○清掃活動や草花の植栽等の地域ボランティア活動に取り組む（高齢者自身） ○介護や健康の悩みがあったら抱え込まずに相談する ○介護保険の制度を理解し、適正に利用する
<p>各種団体等 (NPO・大学等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の能力や技術を生かした活動や仕事の間を確保する（老人クラブ、シルバー人材センター、ボランティア団体、ボランティアセンター等） ○地域の高齢者同士が交流できる場をつくる（自治会・町内会、ボランティア団体等） ○一人暮らし高齢者などの日常生活を支援する（自治会・町内会、社会福祉団体等） ○高齢者の孤立化の防止に取り組む ○気軽に集まれる場（サロン等）を確保する ○介護保険制度を啓発する（ボランティア団体、NPO団体等） ○医療と福祉の連携を図るとともに、介護予防対策を講じる（医師会、福祉施設等）
<p>事業者等 (生産者等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の能力や技術を生かした仕事や活動の間を確保する ○継続雇用に取り組む ○高齢者に配慮したサービスを提供する ○要介護度に応じた適正な介護サービスを提供する（ケアマネジャー、介護事業者等） ○介護保険事業所を適正に運営する（介護事業者等）
<p>行政機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢者が生きがいを持って活躍できる環境をつくり、周知を行う ○高齢者の活動を支援する団体を育成する ○相談体制や介護予防の拠点である地域包括支援センターを周知する ○空き地等（個人所有地を含む）を、高齢者ができる軽作業等に活用する ○サロン等のリーダーを育成する ○介護保険制度を支える人材を育成する ○介護事業者を指導する ○介護保険制度を啓発する

2 (5) 自立した暮らしを支える社会福祉・社会保障

<p>市 民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ノーマライゼーションの意識を持って実践に努める ○個性や能力を生かした活動に取り組む（障がい者自身） ○清掃活動などの地域活動を通じて、積極的に地域や社会と関わりを持つ（障がい者自身） ○健康保険の制度を理解し、健康づくりに努める
<p>各種団体等 (NPO・大学等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○行事やイベント等を活用して、障がい者に対する理解を深める ○障がいの種類に応じた支援に取り組む（ボランティア団体、障がい者団体、保健福祉施設等） ○障がい者人材センターなど、障がい者の就労支援の環境づくりに取り組む（ボランティア団体、障がい者団体、社会団体等） ○障がいを生じさせないための予防や対策に取り組む（医療機関、保健福祉施設等） ○身近な相談所を周知する（ボランティア団体、NPO団体等） ○健康づくりの学習や取組に努める（市民グループ等）
<p>事業者等 (生産者等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者の雇用に取り組む ○障がい者が就労できる職場づくりに取り組む ○障がい者団体へ仕事を提供する ○障がい者の個性や能力を生かせる環境づくりに取り組む ○公共交通機関のノンステップ化を進める ○従業員の健康保険や年金の手続きを適正に行う
<p>行政機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○障がい者人材センターなど、障がい者が就労できる環境づくりに努める ○障がい者団体へ仕事を提供する ○公共施設のバリアフリー化を進める ○公共交通機関のノンステップ化を進める ○相談窓口のさらなる周知を図るとともに、障がい児を持つ親への講座等を開く ○社会保障制度の周知を徹底する

基本目標 3 豊かで活力あるまち

3 (1) 地域特性を活かした産業創出

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を利活用したものを使う ○ごみの分別やリサイクル品の利用を心がける ○資源リサイクルの理解に努める
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源として利活用できるものを調査・研究する（大学、研究機関等） ○地域資源の利活用に関するコーディネーターを育成する（産業関係団体等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○再生可能エネルギー産業の創出を推進する ○地域資源を利活用したものを開発し、販売する（生産者、木材会社等） ○地域資源を利活用したものを使う（生産者、木材会社等） ○地域資源を利活用したものの品質管理・向上に努める（企業等） ○商品の情報発信や案内ができる場所をつくる ○リサイクルに関する先進的な取組を行い、関連する企業集積を図る
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○リサイクルポートとしての能代港の活用を促進する ○地域資源を利活用したものを推奨する ○地域資源を利活用したものの開発や販売に支援する ○ポートセールスや企業訪問活動を積極的に行う ○能代の特徴がわかる地域産業カタログを作成する

3 (2) 雇用とにぎわいを生み出す商工業

市民	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の優位性を地域外にPRする ○企業立地に対して理解・協力する ○起業に出資する ○市民の総力を挙げた企業誘致活動 ○地元にある商品は地元で購入する ○地元商店街などのまち歩きを心がける ○消費者として商店にはっきりとニーズを伝える
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域外からの情報を収集する（商工会議所・商工会、能代PR大使等） ○新卒者に、就職相談会の開催や求人情報の発信を行う（商工会議所・商工会等） ○起業セミナーを開催するなど、起業を支援する（商工会議所・商工会等） ○店主や店員が経営や接客などに関して研修できる場を設ける（商工会議所・商工会等） ○集客イベントなど商店街と連携して活気を生み出す活動を行う（自治会・町内会、婦人会等） ○各団体が相互に連携できるネットワークを構築する ○島町通りに駐車スペースを設置する活動を行う（市民グループ等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○求人情報を発信する（企業等） ○企業間で情報交換などの交流を行う（企業等） ○起業者や企画に対して資金面も含めたサポートをする（企業等） ○外部資金を活用し、地場産品との連携を図る ○アンテナショップをつくり、地域外への情報発信や雇用に繋げる ○経営や接客、開店時間など、高齢者にやさしい商店をつくる（店主、商店会等） ○専門店化や小口販売など消費者ニーズに合わせた商売を行う（店主、商店会等） ○街なかに産直店を設ける（生産者、生産者団体、JA等） ○起業を望む人に空き店舗を貸し出す（店主、商店会等） ○小規模でもキャンペーンやイベントを多く開催し、賑わいを創出する ○各分野における後継者の育成に努める
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○企業からの情報収集や、企業に対する地域の優位性をPRする ○融資などの支援制度を周知する ○起業に関する総合案内所の設置を検討する ○大学・専門学校等の誘致や、若者が集まる場所の検討を行う ○商店街に人が集まりやすい環境整備を支援する ○商店街などの積極的な取組に支援・協力する ○各分野における後継者の育成に対する支援を行う

3 (3) 豊かな自然や伝統・文化を活かした観光

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の見どころや食の良さを紹介できるようになる ○地域外の人と交流を持つ ○フィルムコミッションの活動に参加・協力する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○体験観光メニューを開発する（観光協会等） ○旧天神小学校を木工教室やカヌー製作など学習・交流施設として活用する（観光協会等） ○地元の見どころや飲食店などの情報を提供する（観光協会等） ○地元食材を活かした食による誘客に取り組む（観光協会等） ○登山やトレッキング等の案内板やマップを作成する ○史跡や自然探訪を目的としたガイド研修を行う（観光ガイド等） ○能代七夕を常時体験できる場の創出を検討する ○風の松原をウォーキング等の大会に活用する ○ガン・カモ類の中継地としての小友沼のPRを図る
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○体験観光メニューを開発し、販売する（旅行会社等） ○地元の良さを活かした旅行商品を開発し、販売する（旅行会社等） ○能代駅前など適所に食事どころを設ける（商店主等）
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○イベントや伝統行事などの情報や案内を伝わりやすいように工夫する ○体験観光メニューや地元の良さを活かした旅行商品の開発を支援する ○登山やトレッキング等の案内板やマップを作成する ○地域と連携したイベントへの支援を行う ○体験型の観光や学習を促進する

3 (4) 力強く持続する農業

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○地元産の農産物を積極的に購入する ○贈り物などを通じて地元産の農産物をPRする ○食に関する正しい知識や望ましい習慣を身につける
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○適地作物の研究を行う（大学、研究機関等） ○地元産の農産物の良い点を分析する（大学、研究機関等） ○農産物の品質向上のための研究を行う（大学、研究機関等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○安全で安心な農産物を生産し、独自の規格やブランドをつくってPRや販売を行う（生産者、生産者団体、JA等） ○地元産の農産物を使って新たな商品を開発する（生産者、生産者団体、JA、企業等） ○地元産の食材を使う（飲食店、宿泊所等） ○農商工連携による6次産業化を進める ○高付加価値の農産物を作る ○トップセールスにより、販路拡大に努める
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○物産交流の取組を検討する ○地産地消や食育を推進する ○農商工連携による6次産業化を進める ○販路拡大等のためトップセールスを積極的に行う ○学校給食へ地場産品を積極的に活用する

3 (5) 山・川を生かす林業・木材産業・水産業

市民	<ul style="list-style-type: none"> ○外装など見えるところに木を使う ○木造住宅を選択する ○秋田スギの良さを理解する ○スギ製の名刺を活用する ○森林の保全管理を行う（森林所有者等）
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○製品化や商品化に結びつく木材の研究を行う（大学、研究機関等） ○外観に木を多く使った家の研究を行う（大学、研究機関等） ○森林の保全に協力する（ボランティア団体等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○木のぬくもりを伝える木製品を推奨する（設計事務所、工務店、大工等） ○地場産材を使った木製品を気軽に購入できるようにする ○外観に木を多く使った家づくりを推奨する（設計事務所、工務店、大工等） ○スギを構造材として活用できる工法の開発に取り組む ○良質な木材の生産を行う（森林組合等） ○木の良さに親しめるような商品の開発・販売を行う ○間伐材等をバイオマス発電やペレット等に活用する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○木のまちづくりのための支援を行う ○外観に木を多く使う家づくりをPRする ○学校等の建替えの際は木造を選択するよう努める ○スギを構造材として活用できる工法の開発に取り組む

基本目標 4 安心して暮らしやすいまち

4 (1) 安全な暮らしを守る防災・防犯体制

市民	<ul style="list-style-type: none"> ○自主的な防災対策を心がける ○自治会・町内会の活動や防災訓練に積極的に参加する ○避難場所の確認や避難訓練を行う ○地域の見回りや児童生徒への声かけ運動・見守りを行う ○詐欺や訪問販売等のトラブルに関する勉強会や声かけを行う
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○身近なまち歩きなどで危険箇所をチェックする（自治会・町内会等） ○住宅用火災報知器の設置率を高める（火災予防組合等） ○防災訓練を定期的に行う（自治会・町内会等） ○災害時の医師などの派遣体制を確立する（医師会、医療機関等） ○地域の商店等と非常時の協力体制を構築する（自治会・町内会等） ○行政機関等と連携して通学路の点検・パトロールを行う（自治会・町内会、PTA等） ○自転車や自動車のマナー向上のため街頭指導を行う（交通安全協会等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域と連携し災害時に救助物資などの物的支援や人的支援を行う ○防災訓練を定期的に行う ○従業員への安全運転講習の実施や法令順守の徹底を図る ○詐欺被害等の防止のため声かけを行う
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○災害時の周知方法を整備し、緊急避難場所を指定・周知するなど、常に新しい情報を提供する ○防災教育に努める ○住宅用火災報知器の設置率を高めるため周知に努める ○自治会・町内会同士の情報交換・共有の場をつくるなど連携を図る ○地域と連携して通学路の点検を行う ○詐欺や訪問販売等のトラブルに関する講座等、情報共有に努める ○広報やメール、回覧板等を活用し、情報共有の徹底・強化を図る ○公共施設の耐震診断や改修に努める

4 (2) 機能的で利用しやすい道路・交通ネットワーク

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会の活動や除排雪活動に積極的に参加する ○除排雪が困難な家庭の除排雪に協力する ○排雪場所の確保に協力する ○公共交通機関の利用を心がけるとともに、改善に向け積極的に参画する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○自治会・町内会活動など地域活動への積極的な参加を呼びかける（自治会・町内会等） ○除排雪を含め生活道路などの確保を図る（自治会・町内会等） ○定期的な除排雪活動を行う（自治会・町内会） ○排雪場所の確保に協力する（自治会・町内会） ○高齢世帯等への除雪ボランティアなど、除排雪活動に参加する（自治会・町内会ボランティア団体、シルバー人材センター等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○所有する空き地などを排雪場所として提供する ○除排雪用機械を借りやすくする（機械取扱い業者） ○バスやバス停への広告掲載などを行う ○利用者アンケート等によりバスの運行時間や路線を見直すとともに、効率的で安全・安心な運行を行う ○介護タクシーの導入を進める
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○排雪場所の確保のため土地所有者への協力依頼に努める ○市民の声を除排雪計画に生かす ○有償ボランティアの導入について検討を行う ○公共交通の適切な運行を支援するとともに、市民、事業者等との協働により改善に向けた取組を進める ○高齢世帯等に対する支援を行う

4 (3) 快適で暮らしやすい住環境

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○整備された都市基盤を有効に使う ○地元の公園などの清掃や手入れに参加する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地元の公園などの清掃や手入れを行う（自治会・町内会、市民グループ等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○民間活力を活かして市営住宅を整備する（住宅供給業者）
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○水質や衛生面の向上を周知し、上下水道の加入率向上に努める ○子どもに対する生活環境教育を行う

4 (4) 自然と共生し持続できる環境・衛生

<p>市 民</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然エネルギーの理解を深め、環境活動に参加する ○ごみのポイ捨てや野焼きはしないなど、モラル意識を持ち、環境美化に努める ○庭木などの松くい虫を防除する ○ごみの分別の徹底やリサイクル品の利用を心がける ○マイバッグ運動に参加する ○ごみの減量化や資源化に関して、子どもの頃から教育する
<p>各種団体等 (NPO・大学等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○モラル意識向上のための活動を行う（市民グループ等） ○自然環境の美化・保全活動や巡回指導を行う（ボランティア団体等） ○松くい虫の防除体制の構築や、協賛などの支援を募る（ボランティア団体等） ○自然観察会を通じて環境学習に取り組む ○花の植栽や街路樹の剪定等、専門的な知識での指導を行う ○ごみの減量化や資源化などの意識の向上に取り組む（市民グループ等） ○マイバッグ運動を推進する（市民グループ等） ○ごみの減量化や資源化に関して学習する（環境関係団体、婦人会等）
<p>事業者等 (生産者等含む)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○社会貢献の一環として環境保全の活動を積極的に展開する ○野焼きをしないなど、法令を守る ○松くい虫防除に協賛などの支援を行う ○ごみの分別の徹底やごみを極力出さない工夫を心がける ○資源ごみの回収に努める ○リサイクル品の流通に努める ○事業所の衛生管理を徹底する
<p>行政機関</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境の保全状況を把握する ○自然観察会等の機会も活用し、環境問題に対する教育を充実する ○松くい虫防除など自然環境保全の活動を支援する ○ごみの分別の仕方をわかりやすく周知する ○ごみの減量化の効果と進み具合を周知する ○資源を大切にす指導・教育を充実する ○不法投棄の監視体制を強化する ○上下水道の加入率向上に努める

4（5）調和のとれた有効な土地利用

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活かした活動やイベントなど、地域づくりに参加する ○地域の良さ（資源）に関して学習する ○所有地を適正に保全管理する
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を活かした活動やイベントなど、地域づくりを行う（まちづくり団体等） ○地域の良さ（資源）に関する専門知識を提供する（大学、研究機関等） ○地域の良さ（資源）を理解するためのネットワークづくりを行う（大学、研究機関等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○空き地や空き店舗など土地・物件の情報提供を行う（不動産関係事業者等） ○産直店を設けるなど、地元農家とタイアップした事業展開を図る（生産者、生産者団体、JA等） ○地域資源を活かして集客に結びつける（商店主、商店会等） ○耕作放棄地対策として農産物の商品価値を高めるとともに販路開拓に努める
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○適正な土地利用を指導する

4（6）住民サービスに資する効率的な行財政基盤

市 民	<ul style="list-style-type: none"> ○納税に関して権利と義務の意識を持つ ○行財政の状況に関心を持つ ○市や市議会の広報に目を通す
各種団体等 (NPO・大学等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○市との協働を含め、地域の課題解決に自主的に取り組む（自治会・町内会等） ○行政では対応が難しい新たな課題を解決するための取組を行う（NPO団体等） ○活動の幅を広げ、市民を巻き込んだ取組を行う（NPO団体等）
事業者等 (生産者等含む)	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者制度などで民間のノウハウを提供する ○広報や公共施設などに広告を載せる ○市職員の研修に協力する
行政機関	<ul style="list-style-type: none"> ○市職員の意識や資質の向上を図る ○国・県・市が情報を共有する ○行政の担う役割を見直しし、組織・機構を検討する ○広域的な滞納整理に取り組む